



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

http://www.jcp-ktib.com/

風船爆弾の語りべ 「平和の鐘を鳴らそう！」

北茨城ユネスコ協会が講演会

7月16日、平潟公民館で、北茨城ユネスコ協会主催による講演会「風船爆弾の語りべ」がありました。講師は郷土史研究者である大和田保氏で、30数人の市民が熱心に耳を傾けました。参加したKさんが寄せてくれた講演の内容を紹介します。

太平洋戦争で追いつめられた日本軍がアメリカ本土攻撃を試みた秘密兵器が「風船爆弾」です。

これを飛ばす放球基地の条件として、①海が近く良い砂がとれるところ、②風船の浮上に防風の役目をする丘や林に囲まれ、③機材などの鉄道輸送に便利などころの3つがあげられ、千葉県一宮、福島県勿来など



長浜にある碑

風船爆弾放流の地
わすれじ
平和の碑

新しい誓い
海のかなた
大空のかなたへ
消えて行った
青い気球よ
あれは幻か
今はもう
呪いと殺意の
武器はいらない
青い気球よさようなら
さようなら戦争
鈴木俊平

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

とともに、大津が決められました。

勤労動員された少女挺身隊（14歳くらい）や女学生などの手で生紙を五枚貼り合わせた和紙が使われ、東京宝塚劇場を作業場に気球に作り上げられました。

44年11月3日、大本営から「米本土攻撃開始」の正式命令が出されました。アメリカ軍が把握した報告では、総計285。45年3月が最も多く167、カナダに78、アラスカに32などの数字があります。国内での迷走もあり、函館に1、秋

田に2、勿来にも落ちています。

大津基地では突発事故が起きました。風船爆弾が浮上した瞬間、爆弾が落ち、強烈な音を発して爆発。放球台にいた兵隊三人が空中に跳ね上げられ、腕や足がもぎとられて地上にたたきつけられました。さらに周囲にいた何人かは爆風に飛ば

ばされました。

事故死した兵の遺体は、放球台の奥まったところに慌ただしく埋葬されました。基地の跡は戦後も残っていました。天心記念美術館への道路開通によってすべてなくなり、いまは鈴木俊平の「わすれじ平和の碑」と無名戦士の「鎮魂碑」が残るのみです。

あいら 鹿児島県 議会だより 追跡記事も



北茨城市議会の

議会だより編集委員会では、19日、鹿児島県始良町を視察しました。鹿児島市の東に位置し、南に桜島を一望できるところです。

「あいら議会だより」は、町村議会広報紙のコンクールで上位入賞を続け、今年も優勝。質問事

項を追跡し、議員名も明らかにして、議会報道の基本的なルールを実践している点が評価されました。

かつては事務局まかせでしたが、「地方の時代」が叫ばれたおりに、すべて自分たちで手がけようと一念発起しました。「そもそも、議会だよりとは何か」から議論し、積極的に研修も受けているそうです。

編集方針、紙面構成をきちんと明文化しています。その第一番が、議会で議論されていることを住民にわかりやすく伝えること。

「追跡記事」については、住民の期待にこたえ、行政をチェックするうえで当然取り組むべきものとして強調されていました。

紙面はカラーで12〜20ページ。道路整備や公民館活動、学校の教室、農作業まで、住民生活に密着した写真がいっぱいです。